ノーモニー相談室 ~あなたらしい生き方を応援します~

ハーモニー相談室では、あなたの気持ちをありのままに受け止め、大切にしながら、家族や地域、社会の中で孤立する ことなく「自分らしく」生きていけるように、解決方法を探っていくお手伝いをします。

◆家族(親、子ども)のこと ◆夫婦のこと ◆生き方、性格のこと ◆ドメスティックバイオレンスなど

相談は無料です。秘密は厳守します。

【直通ダイヤル】018-836-7846 / 月~土曜日 10:00~17:00

<相談室から>☆当相談室の"女性のための語り合いの場(グループワーク)☆

日々の生活や人間関係の中で感じる息苦しさ、突破口の見えない辛さ、自分だけだ ろうかという不安など、女性だからこそ感じる生きにくさや気持ちを語り合います。 5~6人の小人数、やわらかいルールのなかで、直ぐに緊張もとけ、丁寧に耳を傾けても らえる心地よさをかんじはじめます。「私だけではなかったんだ」「あるあるそういう気持ち」 「そういう見方もあるのか」「こういうマイナスの思いを口にしてもいいんだ」 などの思い が安心感を生み、1 クール 6 回を重ねるうちに、「自分の思いを相手に伝えてみよう」「自 分を大切に生きてもいいんだ」と少し元気を貰うことができます。3 クールすべてに参加す ることもできます。

関心をもたれた方は当相談室までお問合せください。



秋田県中央男女共同参画センター事業 父親支援講座





明日は Happy Valentine!

~あなたの大切な人へ 「ありがとう」の言葉を添えて 手作りスイーツを贈りましょう♥~

日時: 平成23年2月13日 (日)~ 無料です

10:30~12:00

場所:こどもサロン(アトリオン6F)

講師:寺田 信博 さん(主夫歴 15年) 対象:3歳位から小学生のお子さんがいる

パパと子ども(10組程度)

内容:ホットプレートや電子レンジで簡単な

チョコスイーツをつくります。

申込み・お問合せは 秋田県中央男女共同参画センターまで TEL(018)836-7853

国の第3次男女共同参画基本計画が策定され ました。詳しい内容に関しては、内閣府男女共 同参画局のホームページからもダウンロード 出来ます。

現在、秋田県でも第3次男女共同参画推進計画 の策定作業を進めているところです。

当センターにも冊子を設置する予定ですので、 是非ご一読下さい。





●●登録団体のみなさまへ●●●●

平成 23 年度の団体・グループ活動室利用登録更新申 込書を 2 月中旬に発送いたしますので、必要事項を ご記入の上、3月15日頃までご返送下さい。

※ご不明な点は、センターまでお問合せ下さい。

なお、今年度第二回利用者懇談会を 2 月21日(月) に開催いたします。センターへの貴重なご意見やご提 案などお伺いしたいと思いますので是非ご出席下さ いますようお願いいたします。

【編集後記】

お正月気分もどこへやら、厳しい冬の到来です。 雪遊びをする子ども達の声もあまり耳にすること がなくなり、少子化の現実を思り知らされる秋田 の冬です。この現状に少しでも歯止めをかけるた めには行政や地域の取り組みは勿論、ワークライ フバランスの推進も不可欠です。センターの使命 も問われているという自覚を持って今年もさまざ まな事業に取り組みたいと思います。(A.0)

あらゆるライフステージの「生き方応援館」





発行: 秋田県中央男女共同参画センター 電話: 018-836-7853 http://www.akita-challenge.jp/center/ 〒010-0001 秋田市中通2丁目3-8 アトリオンビル6F 指定管理団体・NPO 法人いきいき Fネット秋田

平成22年 12月6日 開催

相談援助者のためのサポートセミナー

~ 精神的 DV- モラルハラスメントについて ~

「相談援助者のためのサポートセミナー」を開催しました。 このセミナーは毎年行われているもので、今年は講師に、フェミ ニストカウンセリング学会代表の井上摩耶子さんをお迎えしまし た。テーマは「精神的 DV-モラルハラスメントについて」とし、 講話の後にワークショップも組まれた体験型のセミューでした。



援助者のほかに、関心のある一般県民も対象としていて、この 日は、男性7名を含む41名の参加がありました。DV法が施行 されて10年余りたちますが、身体暴力が刑罰の対象となると知

った加害者は、今度は目に見えない、見えにくい精神的な暴力に移行しているとも言われています。身体 暴力と違い、精神的な暴力は、見えないという以上に被害を受けている当の被害者さえ分かりにくい暴力 です。それ故に援助者のみならず、一般の方々にもその実態を知ってもらい、支援の強度を高めたいとい うのがこの度の講座の狙いでした。

井上さんは、従来のカウンセリングとフェミニストカウンセリングの違いを詳しくお話してくださいま した。「女性の相談は、個人的な欠陥ではなく、生育歴だけにも還元できない、原因は社会文化的な要因に ある」と言う視点に立ったフェミニストカウンセリングは、そのままDVの社会的な背景や原因、被害を 受けた女性のありかたを浮き彫りにするメッセージでもありました。参加された方々も支援者としての立 ち位置として、日々の活動にひきつけられたのではないかと思いました。また、精神的な DV については、 「加害者と被害者の支配関係のなかで、被害者は心理的に束縛され、蜘蛛の巣に捕えられた獲物のように 衰弱していく、だが、自分が心理的に侵入を受けているとは自覚していないことが多い」と、フランスの 精神科医マリーフランスの著書を引用しながら説明してくださいました。

解りにくいと言われている精神的暴力についての講話でしたが、アンケート調査では「理解できなかっ た」という回答が0だったことは、主催者側には大変うれしい結果でした。ワークショップで構成事例を もとに話し合われた内容は、井上さんからのコメントにより、より深まったのではないかと思いました。 参加者からは、「支配される人の気持ちを考えると、社会的な大問題と感じた」「教育関係者にこの講話を 研修のひとつとして聞いてもらいたい」「言葉によるモラルハラスメントの潜在的な怖さを理解することが 出来た」という声がきかれました。個人に起きていることは、社会の在り方が大きく影響している、個人 的な問題ではないということ、渦巻いている社会問題の存在を、参加くださった方々に理解していただい たとの感を強くもちました。

今後も暴力のない安全で安心できる社会を目指し、さまざまな角度、視点から発信していきたいと思います。

く参加者アンケートから>

- ★モラルハラスメントについて認識が深くなった ★自分では気づいてないことが DV になることに
- おどろいた。 ★フェミニストカウンセリングと(伝統的)カウンセリングの違いが明確になった。 ★DV の理解が深まれば、世代間連鎖は防げるということに希望が持てました。

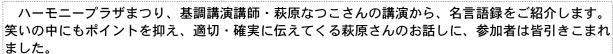
◆目次◆

- P1・「相談援助者のためのサポートイミナー」開催報告
- P2·萩原なつこせん語録 ~ハーモニープラザまつり基調講演がら~
- P3 · ようこ弋八ーモニープラザへ♪新春企画 <チじままサロン>
- P3·第2回地域連携ネットワーキング会議 参加報告
- P4 · <中央センター主催講座等で案内> 「パパもつくれるよ!」

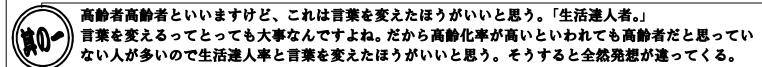
P4:相談室から:お知らせ、編集後記

萩原なつこさん(講師)語録

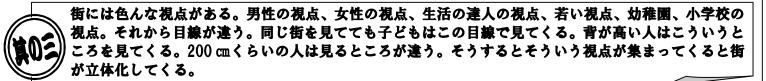
ハーモニープラザまつり2010/基調講演「参画で地域をデザインする♪♪」

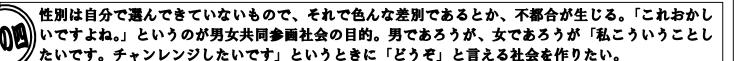


男女共同参画や地域づくりを進めていくヒントが満載の講演は全編をお伝えしたいところですが、 今回は選りすぐった箇所をお伝えします。講演に参加された方も、思い出しながらご覧下さい。









こういう風に生きたいという可能性を奪わない社会を作っていくのが、男女共同参画の一番の役割。だから 選択肢をあげる。女の人はこれしか出来ない、男の人はこれしか出来ないではなくて、どうぞ自由にやって ください。

多様性を大事にしてこそ、自分も生きていける。人間も色んな多様性がある。そういう世界を作っていきた いというのが一番のベースにある。だとするとやっぱり、地域づくりを考えた時に男性も女性もそれぞれの 意見を反映できる仕組みということで参画社会をどうつくるか、参加者からどうするかという話。

□□参加報告□□

平成 22 年度 第 2 回地域連携ネットワーク会議

開催日:平成23年1月17日(月) 場所:秋田地方総合庁舎6階

地域での情報交換及び連携推進を目的として、第2回中央地域連携ネットワーク会議が開催されました。 会議には、FF推進員、市町村担当者、ハーモニーネット団体、秋田県、秋田地域振興局、中央センター の担当者の 31 名が参加し、F F 推進員として活躍している由利本荘市の伊藤久美子さん、と潟上市の宇瀬 順さんの事例発表のあと、2つのグループに分かれてグループ・ワークを開催しました。

グループでは、地域における男女共同参画を進めるために、これまでの反省点や今後への課題を積極的 に話しあったり、自らが地域の主体となって進めるための工夫やポイントを他の参加者へ求める場面が多 く見られました。グループ・ワークや事例発表の質疑等で出された、発言を以下にまとめました。

<FF推進員>

- ・関連事業への参加や、寸劇等を活用しながら、各市町村や地域に おける、日々の地道な活動を重ねていくことが大事。
- ・メディア等を利用した有効な情報の発信をしていく。
- ・(チラシなどでは)男女共同参画を全面に出さない事業もある。
- ・一人でも理解してくれる人がいれば、それだけで成果になるのだと思う・
- ・以前は人集めが大変だったので、人の居るところに出掛けて事業をした。
- ・今後は学校などの教育機関へ活動を広げてはどうか。

<活動団体>

- ・会議に参加することが第一歩。
- ・このような会議があって連携も可能になる。

<全体・その他>

- ・普段から集まって話が出来る関係作りの必要性。
- ・基礎講座のような事業を継続して行なうための予算の確保をどうするか。
- ・このような会議に出席して、中央地域のネットワークを広げていく。
- ・地域振興局を主体とした、組織づくりと活動を強化してはどうか。



グループ·ワーク (Aグループ) の様子

グループ・ワークは秋田市・潟上市・南 秋田郡(Aグループ)と由利本荘市・ にかほ市 (Bグループ) の2つで行な いました。

中央センターでは今回の話し合いの内容や提案も、来年度以降の事業やセンター運営等に取り入れるよ うに検討します。また、地域の活動団体やFF推進員が今まで以上に連携・協力出来るよう支援していき

たいと考えています。 気がする ろいろな事を学ぶ事が出来て、



たいと思っていたとも応援していた

い う き 後

と思っ

るとともに、

にセンターの私た彼女たちのやる気 その ちも勇気づけられ 講座を企画中です それぞれの持つ、 ノウハ ウを活かして、

ミニ講座を開催してきたチビまま達はそれぞれの持つ、多彩な才能で様々な ら 年度企画中 て 分に自信を持って、 が出来れば。」 まし た。 来年度は自 (1 きい き 母暮 親 Ì

せる手伝い たちが自然 来 野さん、 で。「もっと多くの母親」の講座の打ち合わせ 繁里さん、 長尾さ

とがありましたら教えて下さい な講座や、 もっと沢山の子どもを持つ母親に 話す機会を作れるような企画をつく 向けて色々

今後、

予定している企画。またやってみたいこ

と思うので、 てもらう等、セ いろいろなイベント等を開催して興味を持 もっと知 ンター の事を知らない人が多 ってもらえるように

は、どのような工夫が必要だと思いますか。 センターがより広い年代の方に利用してもらうに

た、センター したか。 興味はあったが、 を利用するようになって認識がかわり よく分からなかった。 V ろ

いろな講座があり、実際参加してみてとても

理解が深まっ

ども達も親から離れて遊べるようになった。 男女共同参画について興味はありましたか。

も新しい事を学べる楽しさを知った。また、

子

用するようになってから、気がついたことを教えて下さい。 から少しでも離れる時間ができ、母親になっ 以前から、このセンターのことを知っていましたか。また、 知らなかった。 センター に来てみて、 子ども て

中央センターに足を運ぶようになったきっかけは何ですか って参加をしたのがきっかけ。 子どもサ ロンに来て、チビまま講座のことを

お子さんを持つお母さんたちのリフー央センターでは平成21年度よ 参加している方々にお話を伺い して イムの提供と ます。 して 今号では、 『チビままサロン 年度より ビままサ まし ゥロンに こ。 を開 リッシュ

へようこそ! チビままサロン・インタビュ 画 ハーモニープラザヘトン